

(様式)

1/2

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付：2018年4月 日
事業ID：2016399802
事業名：津波防災のためのオレンジフラッグ
普及促進プロジェクト（海と日本2017）
団体名：一社)防災ガール
代表者名：田中 美咲 印
事業完了日：2018年3月31日

事業費総額	25,038,281円	(収支計算書に記載する決算額)
自己負担額	5,038,281円	
助成金額	20,000,000円	(千円未満は切り捨て)
返還見込み額	0円	

事業内容：

津波防災のムーブメントを生み出すため、若者、行政、メディアと連携し以下の事業を実施した。

1.海防災ツールの開発

- (1) 時期：2017年5月～12月
- (2) 場所：日本全国
- (3) 参加者：600人（販売数・配布数の合計）
- (4) 内容：

昨年大きな反響を得た防災グッズであるパラシュートコードを使った防災ミサンガと新たにラウンドタオルを開発。#beORANGE公式ECサイトでの販売と同時に、RESCUE SQUADの店頭・WEBサイトでも販売を行った。

2.宮崎県内での防災コミュニティ形成

- (1) 時期：2017年1月～12月
- (2) 場所：宮崎県
- (3) 参加者：579人
- (4) 内容：

現地協力者とともに、普及啓発のためのオレンジフラッグを活用した避難訓練やイベントを実施した。

3.津波防災教育の開発

(1)時期：2017年6月～12月

(2)場所：宮崎県

(3)参加者：22人

(4)内容：

宮崎の地域住民と連携して、体験型津波避難訓練プログラム「FLAGO」を制作。宮崎市立青島小学校にてFLAGOを使った津波防災授業を実施した。

4. オレンジフラッグ関係者のコミュニティ化および法制化

(1)時期：2017年3月～12月

(2)内容：

2016年に165本のオレンジフラッグ設置を実施した愛知県田原市、静岡県下田市、高知県高知市に引き続き定期的な連絡、掲揚実施願いをするとともに、2016年度の経験をいかしてマニュアルを作成。また各地域の関係者や協力者を招きイベントを開催。プロジェクト実施の報告を行ったほか、トークセッションとして、オレンジフラッグを広めていくために必要なPR、人材、資金調達についての課題解決法をゲストより事例を伺った。これからの津波防災をともに広めていく仲間として作戦会議を行い、その後につながるコミュニティを構築した。

5. 活動の周知活動

(1)時期：2017年3月～12月

(2)内容：

プロジェクトより認知してもらうため、テレビ、新聞、WEBメディア等と連携。300媒体以上の露出を実施できた。SNSやサイトの運用も引き続きを実施したほか、プレスリリースは毎月配信し、様々な切り口でプロジェクトのアピールを行った。

1. 事業目標の達成状況：

【申請時の目標】

- ①宮崎県全域でのオレンジフラッグ設置・全県周知
- ②宮崎県内での津波防災教育
- ③サミット開催、他地域への展開
- ④関係各団体と連携し、法制化へ
- ⑤ネット、マスへの戦略掲載

【目標の達成状況】

- ①宮崎県全域でのオレンジフラッグ設置・全県周知

(1)全県周知

- 県内メディア露出数：15回
- 海開きイベントでの周知活動：2回

<参加者>

- 宮崎実行委員会：16名
- 実態調査：69名
- オレンジウィーク：472名

(2)オレンジフラッグ設置

- 県内新規設置数：44本
- 首長、防災担当者と接見：10市町

②宮崎県内での津波防災教育

(1)宮崎市立青島小学校で津波防災授業
参加者：22名(小学校6年制)

③サミット開催、他地域への展開

- (1)マニュアル問い合わせ数：4件
(2)オレンジフラッグサミット参加者：70名

④関係各団体と連携し、法制化へ

- (1)139市町村津波防災ソフト面ランキングの実施
- メディア掲載：48件
 - 葉山町町長と面会
- (2)文科省地震本部アンケート調査実施
(3)省庁レクの実施
(4)鎌倉市、逗子市、葉山町への連携提案

⑤ネット、マスへの戦略掲載

- (1)メディア掲載数
ネット：285件、新聞：17件、TV：8件、ラジオ：6件
合計：322件
- (2)プレスリリース配信：10本
(3)SNS総フォロワー数：3067人(12/21時点)
(4)WEBサイトページビュー：22,508(3/1-12/20)

2.事業実施によって得られた成果：

1.密着連続取材による県民周知

宮崎県の新聞社、テレビ局と連携して情報発信を行った。実行委員会発足時、オレンジウィーク時には宮崎県内の殆どの報道局に取り上げていただき、累計でNHK3回、宮崎日日新聞7回露出。県民の周知活動を後押しとなった。

2. 地元学生を起点とした共感の輪

防災に取り組みたいという志を持った地元宮崎大学の学生と協働。学生ならではの発想力や機動力を活かしながら共同で事業を行った。その結果、学生が地域防災に取り組む姿に共感した地元キーパーソンや自治体首長との面会が実現したほか、地元のイベント参加や取材にも繋がった。

3. 成功したこととその要因

1. 地元学生との協働ができたこと

宮崎大学地域創生学部・土屋先生のご協力とご紹介により、宮大学生消防隊と協働。宮崎でのオレンジフラッグ設置・周知の中心団体として、代表の竹田卓生さんをはじめ「#beORANGE宮崎実行委員会」として立ち上がった。地域のキーパーソンである土屋先生による呼びかけにより、地元起業家や活動家と繋がり、チーム宮崎として戦略を練ることができた。旗振り役である我々と、地域に見守られながら実施する学生との役割分担は新しい切り口での試みでもあったといえる。

2. ソフト面津波防災対策ランキングが実施でき、大きな反響を得たこと

津波防災対策に新たな風穴を開けるべく、これまで自治体内でも優先度が低いものとなっていた「ソフト面対策」に着目。南海トラフ地震の被害が想定されている139市町村の防災対策を全て取り寄せ、分析を行った。発表したプレスリリースは大きな反響を得て、よい施策をしている自治体に光を当て、オレンジフラッグの重要性も訴えることができた。第1位となった葉山町の表彰を通じて町長とも面会をし、オレンジフラッグの実施にむけて検討していただくきっかけにもなった。

また、岩手県の新聞社「岩手日報」が岩手県の沿岸部地域も同じ採点基準で採点。この情報を新聞に記載するなど展開するほどに。ランキングを発表することで岩手へも波及したことも成功した要因と反響にもつながるのではと考える。

3. オレンジフラッグの共感の輪を広げるサミットを開催できたこと

これまでの関係者、またこれから参画していきたいと希望している方を集めオレンジフラッグを広めるためのサミットを開催した。普段から防災について活動している人に限らず、自治体、メディア、起業家、デザイナー、学生など多様な活動をしているの方々にお越しいただけた。場としてのきっかけから、メディア掲載やその他連携等の取り組みに繋がる糸口が見つかる場となった。

4. 失敗したこととその要因

1.担当者変更による混乱

本年度活動当初に地元自治体と計画していた活動予定が、先方担当者の異動により後任担当者との再度の調整が発生、実施目標が大幅な変更となった。その結果、活動内容の見直しと活動スタートが遅延をしてしまった。

事業成果物：

- ・ 報告書：「#beORANGE 2017年度活動報告書 / レポート」
「WEBエンゲージメント」
- ・ 防災ツール：「#beORANGE ミサンガ(2,100個)」
「ラウンドタオル(480枚)」
「オレンジフラッグS/M/Lサイズ(90本/150本/30本)」

・ 写真・動画：

宮崎活動報告

<https://www.youtube.com/watch?v=VbPaR1nrVz8&t=28s>

・ webサイト：

#beORANGE WEBサイト

<http://beorange.jp/>

#beORANGE Facebookページ

<https://www.facebook.com/hashbeorange/>

(様式)

2/2

収支計算書
(2017年4月1日から 2018年3月31日まで)

収入の部

(単位 :
円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	受入済額 (C)	返還額 (D = A - C)	備考
日本財団助成金収入	20,000,000	20,000,000	20,000,000	0	
自己負担	5,030,000	5,038,281	5,038,281	-	
収入合計	25,030,000	25,038,281	25,038,281	0	

支出の部

科目	予算額	決算額	支出済額	未払額	備考
人件費	6,600,000	7,791,990	7,791,990	0	
旅費交通費	3,600,000	3,531,287	3,531,287	0	
印刷製本費	600,000	98,438	98,438	0	
委託費	5,480,000	5,307,040	5,307,040	0	
消耗什器備品費	1,000,000	436,824	436,824	0	
通信運搬費	20,000	21,600	21,600	0	
事務管理費	2,630,000	2,028,912	2,028,912	0	
広告宣伝費	1,020,000	1,199,440	1,199,440	0	
雑費	4,080,000	4,622,750	4,622,750	0	
支出合計	25,030,000	25,038,281	25,038,281	0	